

あいどり

相取工法で急傾斜地に機資材を搬入

はじめにラフタークレーンまたはユニックで基本となる 1 台目ジブクレーンを組み立てます。

次にそのジブクレーンで、上段に2台目ジブクレーンを組み立てます。

さらに 2 台目で 3 台目のクレーンを組み立てていきます。以下、繰り返し何台でも設置可能。

このように相取工法はジブクレーンなどを複数台組み合わせることで、急傾斜地の上方に機資材を搬入し、安全で迅速な施工を提供します。

急傾斜地工事は機資材の揚げ降ろしが大変な作業
相取なら従来工法より安全な揚げ降ろしが可能です



定置式クレーン

安全第一でスピーディ



3 台目
(2 台目クレーンで部材を揚げ組立)

2 台目
(1 台目クレーンで部材を揚げ組立)

1 台目

相取工法側面図

〈ジブクレーン 3 台と定置式クレーンの場合〉

組立て前のクレーン部材

